

漢方製剤

オースギ桂枝加竜骨牡蛎湯エキスG

けい し かりゅうこつ ぼ れいとう
(桂枝加竜骨牡蛎湯)

| | |
|------|---------------|
| 承認番号 | (61AM) 第3870号 |
| 薬価収載 | 1986年10月 |
| 販売開始 | 1986年10月 |

| |
|--|
| 貯法：室温保存 「取扱い上の注意」 の項参照 使用期限：容器又は外箱に表示 |
|--|

【組成・性状】

(1) 本剤は1日量7.5g中、下記生薬より抽出した水製乾燥エキス(桂枝加竜骨牡蛎湯エキス)3.5gを含有する。

| | |
|--------------|-------------|
| 日局 ケ イ ヒ 4g | 日局 カンゾウ 2g |
| 日局 シャクヤク 4g | 日局 リュウコツ 3g |
| 日局 タイソウ 4g | 日局 ボレイ 3g |
| 日局 ショウキョウ 1g | |

添加物として、乳糖水和物、トウモロコシデンブ、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

(2) 本剤は茶褐色～淡灰茶褐色の顆粒で、特異なおいがあり、味は初めやや辛く、後にわずかに甘い。

識別コード：SG-26

【効能又は効果】

体質虚弱な人で疲れやすく、興奮しやすいものの次の諸症：
神経質、不眠症、小児夜なき、小児夜尿症、眼精疲労

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1)重要な基本的注意

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(2)相互作用

併用注意(併用に注意すること)

| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
|-----------------------------------|---|--|
| カンゾウ含有製剤 グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤 | 偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパチーがあらわれやすくなる。(「重大な副作用」の項参照) | グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。 |

(3)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1)重大な副作用

偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2)その他の副作用

| | |
|--------------------|-----------|
| | 頻度不明 |
| 過敏症 ^{注1)} | 発疹、発赤、痒痒等 |

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

(6)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【取扱い上の注意】

- ・直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、色や味等に多少の差異を生じることがありますが、効果に変わりありません。

【包装】

- 500g
- 735g (2.5g × 294包)
- 210g (2.5g × 84包)

【文献請求先】(お問い合わせ先)

大杉製薬株式会社 医薬情報部
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂1-8-6
TEL 050-3776-0358